

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル

85年の時を経て、
父の能面工房が住まいとして蘇る。

タイプ

持家一戸建

構造

在来木造

講評

85年経った父の能面工房を取り壊さず、新築同様にリフォームして長男に住ませたいとの思い入れには共感。耐震補強、断熱向上などの努力には優れるが、能面工房の記憶伝承が梁や解体床板のみなのは少々残念だ。

Before



After



85年の時を経て、父の能面工房が住まいとして蘇る



お父様の作品

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

御主人の定年を機に、長男が同居出来るよう建物の改造を思い立たれたのが今計画の動機です。

建て替えも選択肢のひとつでしたが、お父様が能面作りをしていた思い出の工房を取り壊すのは忍びないということと、85年を経ても梁材等はまだまだ使用出来、廃材による環境破壊防止に少しでも貢献したいとの思いで、リフォームをすることに決定されました。

基本計画は、梁、柱等を極力残すこと。しかし耐震性能、耐久性、温熱性能等は新築と同程度の性能を有すること。

性能向上の特性

耐震性能、耐久性、バリアフリー性能、
温熱性能、防音・遮音性能、防犯性能

特に配慮した住宅性能

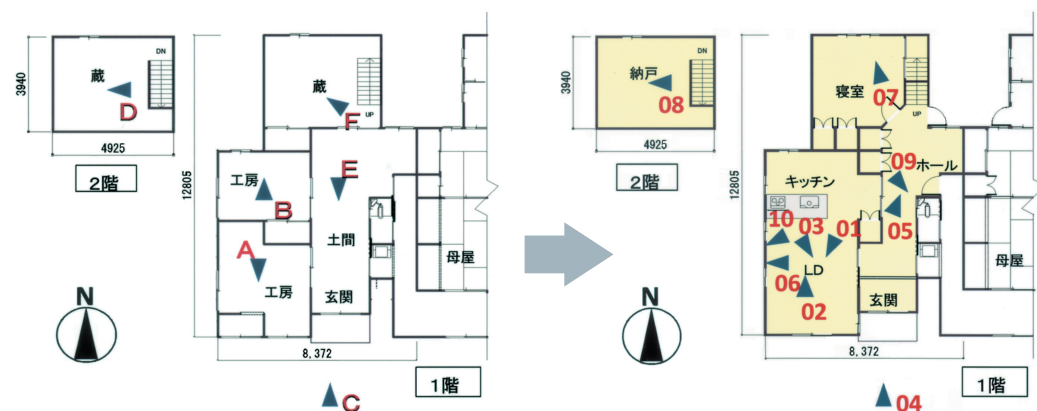
耐震性能(制振装置導入)、温熱性能(次世代省エネルギー基準同等)

というテーマの元に進められ、まず耐震性能確保の為に、既存建物の内側にもう一枚耐力壁を作り、壁内に制振装置を組み込みました(写真06)。

壁厚を厚くすることで、断熱、防音性能向上にも貢献しています(写真07、10)。施主の感想として、隙間風が入らなくなったと同時に、外からの音も入らなくなり静かになりました。梅雨時であっても窓を開けると風が通り、涼しく快適な家です。と評価を頂いております。

リフォーム前

リフォーム後



データ

所在地	岡山県倉敷市	築後年数	85年	施工期間	120 日間
該当工事面積	96 m ² / 総工事床面積	96 m ²	該当部分工事費	1,550 万円 / 総工事費	1,550 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 4 人 / 65歳以上: 人 / 15歳未満: 人 / ペット:	犬1匹			
設計会社	東日本ハウス(株)	担当者	高橋 光昭		
施工会社	同上	担当者	同上		

リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部